

小施策評価シート (平成 28 年度実績評価)

施策コード	13	施策名	スポーツの推進	
小施策コード	13-3	小施策名	スポーツ団体等との連携強化	
小施策 主管課等コード	049000	小施策 主管課等名	スポーツ推進課	
評価責任者名	山本 英朝		内線番号	6400
評価シート作成者名	曾根田 雅彦		内線番号	6401

Step 1 施策目標の達成状況

まちづくり指標	目指す 方向	単位	25年度 実績 (当初値)	27年度 実績	28年度 実績	31年度 目標値	36年度 目標値
「週 1 回以上スポーツをしている」と答えた市民の割合	↑	%	31.1	28.9	27.3	56.0	71.0

(↑：数値を上げていくことを目標とする指標， ↓：数値を下げていくことを目標とする指標， →：数値を維持することを目標とする指標)

Step 2 小施策の全体像

小施策の概要等 (構成事業は別紙ロジックモデルシートのとおり)

対象 (誰 (何) を対象として行うのか)	意図 (対象をどのようにしたいのか)
スポーツ団体等	団体の役割を明確にし, 市民のスポーツ活動が活発に展開される環境を作る。
現状と課題	スポーツ大会などの企画運営や競技力向上のためには, 指導にあたる組織や人材が必要となるため, スポーツを支えるための組織・人材などとの連携を強化する必要がある。
取組の方向性	市民へのスポーツの普及・定着化と競技力の向上を目指すとともに, スポーツツーリズムを推進するため, 広域市町, 関係機関・団体などとの連携を強化する。

Step 3 小施策指標の推移

小施策の指標	目指す方向	単位	25年度実績 (当初値)	27年度実績	28年度実績	31年度目標値	36年度目標値
市が共催・後援する事業の数	↑	事業	193	195	199	240	290
総合型地域スポーツクラブの数	↑	団体	5	5	5	12	24

(↑：数値を上げていくことを目標とする指標， ↓：数値を下げていくことを目標とする指標， →：数値を維持することを目標とする指標)

Step 4 市民ニーズの把握

指導者の確保・育成，資質向上が求められている。

Step 5 役割分担分析

1 各主体の役割の状況

		役割の内容	役割分担比率 (%)
各主体の 役割の状況	市	スポーツ団体等の活動支援	30
	国・県・ 他自治体	広域での事業推進への協力	10
	市民・ NPO	スポーツ活動機会の提供	30
	企業・ その他	大会等への支援	30

2 今後の市の役割の比重の方向性とその理由

- 市の役割の比重を拡大していくことを検討する
- 現状維持（現在の市の役割の比重を維持する）
- 市の役割の比重を縮小していくことを検討する

(理由)

スポーツ団体等との連携は，市民のスポーツ活動を活発にするため必要であり，これまでの関係を維持する必要があることから現状維持とするもの。

Step 6 前年度に分析した課題・改革改善案に対するアクション

1 平成28年度に分析した問題点・課題に対する改革改善案

- ・ 総合型地域スポーツクラブ創設に向けた研修会の開催。
- ・ 広域のスポーツツーリズム推進に向けた新たな組織の創設。

2 1の改革改善案の実施状況

(A：着手済, B：平成29年度に着手(予定含む), C：未着手または見送り)

改革改善案	具体的な取組(予定)内容	状況
総合型地域スポーツクラブ創設に向けた研修会	岩手大学との共催により研修会を開催した。	A
広域のスポーツツーリズム推進に向けた新たな組織の創設	平成29年3月に盛岡広域スポーツコミッションを設立した。	A

3 2で挙げた取組状況がCの場合, その原因

Step 7 成果・問題点の把握

1 成果の把握と要因分析及び課題の設定

(1) 小施策の中で成果をあげた点

- ・ 希望郷いわて国体において来県したスポーツ関係者に豊富なスポーツ施設を紹介し評価された。
- ・ カナダを相手国とするホストタウンに認定された。

(2) 成果をあげた要因

- ・ 「広域連携スポーツツーリズム推進事業」において盛岡広域8市町が共同でスポーツツーリズムパンフレットを作成し多くの関係者に配付することによりPRできた。
- ・ 「広域連携スポーツツーリズム推進事業」においてカナダでのプロモーション活動を実施したことによりカナダ競技団体関係者との交渉ルートを確立できた。

(3) さらなる成果向上に向けた課題(課題がある場合に記載)

- ・ 全国大会や国内合宿誘致活動の実施
- ・ カナダナショナルチームの事前キャンプ誘致実現に向けた覚書の締結

2 問題点の把握と原因分析及び課題の設定

(1) 小施策における現状の問題点

市民のスポーツ活動機会の拡大に向けた支援を行う総合型地域スポーツクラブの創設に繋がっていない。

(2) 現状の問題点が生じている原因

総合型地域スポーツクラブの創設に係るノウハウを持っている人材が少ない。

(3) 分析した原因の解決に向けた課題

総合型地域スポーツクラブの創設に向けた人材の育成。

Step 8 小施策と構成事業の関係性

- 1 小施策との結び付きが弱い、もしくは他の事業と重複していると考えられる事業
「南岩手山岳遭難対策委員会負担金」
- 2 1で記載した事業についてその理由
小施策の取組の方向性と一致しない事業（負担金）であるため。
- 3 1で記載した事業の今後の方向性（案）（縮小・廃止・統廃合等）
総務部危機管理防災課への事務移管について引き続き検討する。

Step 9 Step7, 8を踏まえた改革改善案

- ・ 「盛岡市スポーツ推進委員協議会運営補助金」事業により、スポーツ推進委員と連携し、総合型地域スポーツクラブの創設のため既存クラブと連携しながら人材育成に努める。
- ・ 「広域連携スポーツツーリズム推進事業」により、カナダナショナルチームの事前キャンプ誘致実現に向けて引き続き交渉を継続する。